

日立病院だより

2023年
8
No.148

(株)日立製作所 日立総合病院 ホームページ →



日立病院だより →



2023年8月1日発行
発行人/天川 務

口唇口蓋裂センター開設のお知らせ

センター長あいさつ

センター長 形成外科 宇佐美泰徳



この度、日立総合病院に形成外科を中心とした口唇口蓋裂センターを開設しました。日立総合病院は、水戸以北で唯一形成外科を常勤として標榜し、日本形成外科学会認定施設となっています。

これまで私は、1995年に日立総合病院に赴任して以来、先天性外表奇形（多指症、口唇口蓋裂、耳介変形、臍ヘルニア）を主に専門とし、特に口唇口蓋裂に関しては、昭和大学口唇口蓋裂センター、聖マリア病院口唇口蓋裂センターでの経験をもとに、治療した延べ人数は400名以上に至っております。

口唇口蓋裂は、出生直後から成人に至るまでさまざまな病態や生じてくる問題に合わせ長期に治療が必要になる疾患であり、我々形成外科医だけでなく、小児科、歯科口腔外科、耳鼻いんこう科、言語聴覚士や公認心理師、医療福祉ソーシャルワーカーといった多くの医療関係者の協力のもとチーム医療が必要とされます。

当院では、新生児集中治療室や小児科病棟も備えており、今後、口唇口蓋裂センターとして、これまでに蓄積された経験をもとに、院内外の各専門分野のスペシャリストと力を合わせ、より高度で安心な治療を提供したいと考えております。

出生時からの一次症例だけでなく、他院で治療を受けた二次症例においても積極的に対応いたしますのでご相談ください。

[問い合わせ先] 医療サポートセンタ 地域医療連携室 0294-23-8343(直通)

面会制限強化のお知らせ

入院患者さんとの面会制限を緩和しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況が改善されないため、感染拡大防止として面会制限を強化させていただきます。

開始：2023年7月3日(月)～

時間：14：00～16：30（病院診療日）

面会：**家族・キーパーソン1日2名まで（12歳以上）**

方法：病棟スタッフステーションにお声掛けいただき、ご協力をお願いいたします。

①1回の面会時間30分以内

②面会者確認票の記載

③**不織布マスク着用**

④手指消毒

⑤飲食禁止



*** 発熱・咳など感染症の症状がある、10日以内にコロナ感染された方(本人・同居者)は面会できません。感染対策のため、ご協力をお願いいたします。**

小児科対象の変更お知らせ

小児科受診について、2023年7月1日以降は、中学卒業までが小児科受診になりますので、お知らせいたします。

対象：14歳以下 → 中学3年生まで

適用：**2023年7月1日** 診療から



院長
佐藤 厚志 先生

【佐藤歯科医院】

当院は平成4年日立駅海岸口より徒歩5分ほどの所に開院しました歯科医院です。

一般歯科を中心に小児歯科、予防歯科等を行っております。人生100年時代と言われる今、患者さんが0歳から100歳まで安心して通える診療所であるよう、日々努めております。

最近有病高齢者も増えてきており、日立総合病院との医科歯科連携が大切であると考えております。周術期等口腔機能管理や睡眠時無呼吸症候群のOA治療も行っております。

かかりつけ歯科医としての役目を果たせるようこれからも努めてまいります。よろしく願いいたします。

<所在地> 317-0074 日立市旭町2丁目2-1

<電話番号> 0294-22-6480

<診療科目> 歯科・小児歯科

<診療時間>

	月	火	水	木	金	土
9:30~12:30	○	○	○	—	○	○
14:30~19:00	○	○	○	—	○	※

※14:30~17:00

<休診日> 木曜日・日曜日・祝日



各科紹介

整形外科

・主とする対応疾患

整形外科外傷(脱臼・骨折・脊椎脊髄損傷・腱断裂・末梢神経損傷など)

外傷後遺症(骨折後の変形・脚不等長・偽関節など)

変形性関節症(変形性膝関節症・変形性股関節症など)

脊椎疾患(頸椎性脊髄症・腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症など)

四肢骨軟部腫瘍(主として良性腫瘍)

・科の特徴

スタッフ間で十分に検討し、手術中心に治療を進めることなく、保存的治療を含めそれぞれの患者さんにとって最良の方法を選択できるよう努力しています。また、説明はわかりやすい表現で丁寧に行い、インフォームドコンセントが得られた後に治療を開始し、患者さんの早期社会復帰をめざしています。待機手術で本人の同意が

得られた場合は、自己血輸血を行っています。ホームページでも、情報を公開しておりますのでご覧ください。

・医師紹介



安藤 毅
(主任医長)



柘植信二郎
(主任医長)



大西 功馬



熊川 義人



小土井佳美



田中 康照

医療サポートセンターからのお知らせ

地域医療連携部門には、紹介患者さんの受入れを行う前方連携(主に地域の医療機関からの診療予約等)と、入院中の患者さんの退院支援を行う後方連携(退院調整・各種制度利用相談等)があります。

後方連携(当院では「社会福祉相談室」)では、患者さんが治療を終えられた後、安心してご自宅や地域へお戻りになっていただけるよう退院支援を行っています。

具体的には、療養継続先のご紹介、在宅医療や訪問看護、介護保険サービス等の各種利用に向けた調整やお手伝いをさせていただきます。

また、退院後も治療やケアが切れ目なく提供されるよう、日頃よりかかりつけ医や訪問看護師、ケアマネージャー等、関係機関の方々との連携にも努めております。

七夕イベント

1号棟4階病棟では、七夕のイベントとして患者さんやご家族の方に短冊をお渡しし、願いごとを書いていただいています。患者さんに少しでも七夕の雰囲気を感じてもらえるように、昼食の配膳を浴衣で行いました。いつもの白衣と違う姿に、患者さんたちの笑顔もたくさん見られ、私たちも楽しい時間を過ごすことができました。



患者図書室からのお知らせ

7月3日(月)から利用時間が拡大しました(休診日はのぞく)。

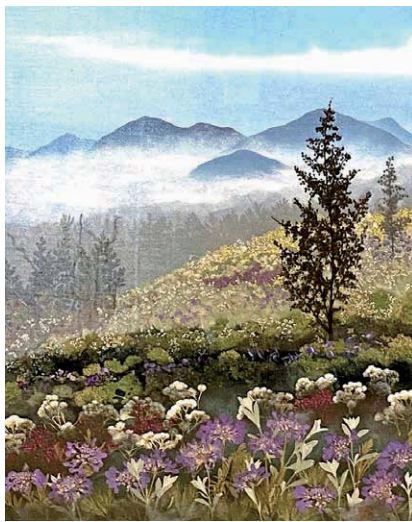
◆月・水・金曜日は9:00~14:30

◆火・木曜日は9:00~12:00

場所は本館棟2階で、どなたでも自由にご利用いただけます。現在、千草押し花会の皆様のご協力を得て「押し花絵」を開催中です。お気軽にお立ち寄りください。

花材：カワラヨモギ、クララ、パセリ、京かご、ミニカスミソウ、マツムシソウ、ホラシノブ、シャク

説明：初夏のさわやかな空気と風を感じる風景です。風が吹き抜けているような山並みは和紙を山の形に切り重ねています。濃霧は綿花を使い表現しました。全体が引き締まるように明るい色合いの花を手前にしています。一本の大きな木は、カワラヨモギです。



初夏の訪れ

患者図書室の室外コーナーに医療用ウィッグのカタログや乳房補整具の購入費用補助制度などのパンフレットを設置しました。ご自由にお持ち帰りください。



誰でもわかる がん講座 117

化学療法と食事

化学療法中の食事は普段と異なり、副作用によって食事が思うように進まず、「栄養をつけなければいけない」、「食べなくちゃ」と考えることもあります。そのような中で食べられるものを見つけて、そこから栄養をとってはいかがでしょうか。

～食欲不振～

これだったら「食べられそうかも」というものがあれば、試してみてもよいかもしれません。「甘いもの」や「さっぱりしたもの」が食べやすい傾向にあります。果物やアイス、冷奴、酢の物などはいかがでしょうか。

～におい～

においに対して敏感になることがあり、温かいご飯の

においで気持ち悪くなる場合は、冷たいそうめんやうどんに変えてみるのも一つです。

～味覚～

食べる量が少なくなると亜鉛が不足し「味が薄く感じる」、「苦味がする」など味覚に変化が起こることがあります。亜鉛の多い食品は牡蠣や納豆、牛乳、卵などがあります。

栄養補助食品はエネルギーや栄養バランスに配慮されており、種類や風味もさまざまあります。頑張っても食べなければと気負わず、ひとまず無理のない範囲でお食事をとってみたいはいかがでしょうか。

栄養科 野内 祐輔

赴任・離任医師の紹介

※本務のみ掲載しております

赴任	7/1	脳神経外科 刈田 弘樹	7/1	産婦人科 水野 優花	7/1	臨床研修医 常泉 香衣
離任	6/30	脳神経外科 渡辺ちひろ	6/30	救急集中治療科 渡邊 達也	6/30	臨床研修医 福地 晴彦
					6/30	臨床研修医 宮下裕一郎

化学療法センターからのお知らせ

2023年7月3日(月)より

★化学療法センターで治療を受ける患者さんの受付場所が、
本館棟1階④番再診受付機になります

★化学療法センターの開始時間が8:15～に変更になります

詳細については化学療法センタースタッフより説明させていただきます。
不明な点がございましたら、化学療法センターへ遠慮なくお声掛けください。



PET検診のお知らせ

検査で早期発見を がん検査のご案内

併設する日立総合健診センターでは、「がん」の早期発見に有効なPET検診を実施しています。

PETとは陽電子を放出する検査薬を注射し臓器の働きを断層画像（輪切りや縦切りの画像）として捉え、病気の原因や病状を的確に診断する「がん」の検査方法です。

PET検査の流れ(所要時間：約3時間)

- ①検査薬を静脈に注射する。
- ②体内に薬剤が十分に広がるまで安静にして待つ(約1～2時間)。
- ③PETカメラで撮影する(約20～30分)。お薬の分布に個人差がありますので、2回撮影することもあります。
※すべての「がん」を診断できるわけではありません。



2022年4月から、日立市民を対象に特別料金で実施しております。

料金 99,000円(税込み) ※通常料金=121,000円(税込み) ※予防検診のため、健康保険適用外

2023年4月から、ペア(2名以上同時)でご予約の方には特別料金を適用しております。

料金 93,500円(税込み) ※通常料金=121,000円(税込み) ※予防検診のため、健康保険適用外

この機会にぜひ新しい装置を使用した検査を受診し、健康管理にお役立てください。

申し込み 日立総合健診センター ☎0120-87-2580(平日午前10時～午後4時)

休診日のご案内

2023年8月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	*	*

9月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*	*	*	*

休診日は、上記の網かけ日となっております。